

巻頭言

朝日大学保健医療学部看護学科紀要第10号の発刊に寄せて

保健医療学部看護学科長 須賀京子

朝日大学保健医療学部看護学科は2014年4月に創設されました。看護学科紀要は初年度に創刊し、本号をもって第10号を迎えることができました。この10年間、本学科の教育・研究の発展に寄与して頂きました先生方に、改めて敬意を表します。

保健医療学部看護学科は教育理念・目標を「建学の精神に則って、生命の尊重と個人の尊厳を基本として深い人間理解のもとに、学修者本位の創造的な教育を推進することで、高度な専門的知識・技術、高い倫理観と豊かな人間性、幅広く深い教養、国際性を兼ね備えた看護専門職者を育成し、地域社会ならびに国際社会に貢献することにより、多様な価値観を持ち生活する人々の健康を支える人材を育成することを目指す」と掲げています。これを具現化するためには、教員個々の教育力・研究能力の向上が必要とされます。

朝日大学に保健医療学部看護学科が創設されて10年の間には、私たちが全く予想もしなかった新型コロナウイルスの世界的感染拡大という大きな出来事がありました。このことは、これまで経験したことのない遠隔授業を中心とした授業形態、臨地実習受入れ中止による学内実習、人を対象とする研究への制約など教育・研究活動等に多大な影響を及ぼしました。しかしながら、この状況は教員にとって、授業や研究活動への創意工夫を生み出す結果ともなりました。この看護学科紀要においても、コロナ禍における様々な授業形態の工夫と教育評価など、今後の教育活動に有用な論文も多く投稿されました。また、海外の大学との交流もオンラインで継続し、北京大学看護学院との共同研究も行っています。このような困難な状況においても、教員個々が大変な努力をしてきたものと確信しております。

2023年5月には新型コロナウイルス感染症が感染法上5類感染症に位置づけられ、徐々に以前の状況に戻ってきました。今後さらに看護学科教員の研究が活発となり、看護学領域の研究の発展に、本誌が寄与できることを期待しております。最後に、今回の編集に携わって頂きました紀要委員会をはじめとする関係各位に感謝申し上げますとともに、看護学のさらなる発展に向け、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。巻頭のご挨拶とさせていただきます。